



第6部

資料編

- 1 竹原市総合計画審議会 …… 164
- 2 計画策定の経緯 …… 166
- 3 総合計画に関する参考資料 … 167
- 4 用語解説 …… 186

1 竹原市総合計画審議会

1

竹原市総合計画策定条例

平成 23 年 3 月 3 日竹原市条例第 2 号

(趣旨)

第 1 条 この条例は、総合的かつ計画的な市政の運営を図るため、本市の総合計画の策定に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 総合計画 将来の長期的な展望の下に市政のあらゆる分野を対象とした総合的かつ計画的なまちづくりの指針であり、基本構想及び基本計画からなるものをいう。
- (2) 基本構想 本市のまちづくりの基本理念及び基本目標を示すものをいう。
- (3) 基本計画 基本構想実現のための施策の方針と具体的な施策を体系的に示すものをいう。

(審議会の設置)

第 3 条 地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定により、竹原市総合計画の策定に関し必要な事項の調査及び審議を行うため、竹原市総合計画審議会（以下「審議会」という。）を設置する。

- 2 審議会は、委員 25 人以内で組織する。
- 3 委員は、当該事案の調査及び審議が完了したときは、その職を失う。
- 4 審議会に会長を置き、会長は委員の互選により定める。

(審議会への諮問)

第 4 条 市長は、基本構想を策定するに当たっては、あらかじめ、審議会に諮問するものとする。

(議会の議決)

第 5 条 市長は、前条に規定する手続を経て、基本構想を策定しようとするときは、議会の議決を経るものとする。

- 2 前条及び前項の規定は、基本構想の変更について準用する。

(基本計画の策定)

第 6 条 基本計画は、市長が、基本構想に即して策定し、又は変更するものとする。

(総合計画の公表)

第 7 条 市長は、総合計画を策定し、又は変更したときは、これを公表するものとする。

(総合計画との整合)

第 8 条 個別の行政分野において施策の基本的な事項を定める計画を策定し、又は変更する場合は、総合計画との整合を図るものとする。

(委任)

第 9 条 この条例に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
(特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)
- 2 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（昭和 34 年竹原市条例第 3 号）の一部を次のように改正する
(次のよう略)

竹原市総合計画審議会委員名簿

順不同・敬称略

区分	団体	役職	名前
会長	広島修道大学	教授	伊藤 敏安
委員	竹原市子ども子育て会議	委員	大武 佳菜子
委員	県立忠海高等学校	校長	沖本 裕之
委員	三井金属鉱業株式会社 竹原製煉所労働組合	執行委員長	越智 康弘
委員	県立竹原高等学校	校長	梶白 博志
委員	竹原商工会議所女性部	会長	北丸 令子
委員		フリーアナウンサー	橘高 貴恵
委員	広島西条公共職業安定所 竹原出張所	出張所長	楠戸 雅浩
委員	竹原商工会議所	副会頭	小坂 政彦
委員	竹原市農業委員会	会長	祐本 征武
委員	竹原市女性連絡協議会	会長	竹下 純子
委員	竹原市校長会（竹原中学校校長）	会長	九十九 邦守
委員	株式会社広島銀行	支店長	蓮池 茂雄
委員	竹原市自治会連合会	会長	山村 道信

※令和5（2023）年12月現在

2 計画策定の経緯

日時	会議等	内容
令和5（2023）年 4月18日	第1回総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> ● 会長選任 ● 策定方針について ● アンケート調査について
7月5日	第2回総合計画審議会 第1回地方創生推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ● 後期基本計画構成案について ● 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括について
8月2日	第1回総合計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 策定方針について ● 後期基本計画構成案について
9月26日	第2回総合計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● 後期基本計画案について ● 人口ビジョン案について ● デジタル田園都市国家構想総合戦略案について
10月6日	第3回総合計画審議会 第2回地方創生推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ● 後期基本計画案について ● 人口ビジョン案について ● デジタル田園都市国家構想総合戦略案について
10月27日	第4回総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> ● パブリックコメントについて
11月14日～ 12月13日	パブリックコメント	
令和6（2024）年 3月25日	第5回総合計画審議会	<ul style="list-style-type: none"> ● 後期基本計画について ● 人口ビジョンについて ● デジタル田園都市国家構想総合戦略について

3 総合計画に関する参考資料

1

第6次竹原市総合計画後期基本計画策定に向けたアンケート調査結果概要

(1) 調査概要

① 調査の目的

第6次竹原市総合計画後期基本計画策定にあたっての基礎資料を得るため、市民の意向などを把握することです。

② 調査対象

18歳以上の竹原市民 2,500人（無作為抽出）

※集計結果は抽出率を基にウエイトバック集計を実施しました。

③ 調査日程

令和5年1月5日から令和5年1月31日（令和5年2月15日分まで受付）

④ アンケート回収状況

回収数：818件（有効回収数：811件） 回収率：32.72%（有効回収率：32.44%）

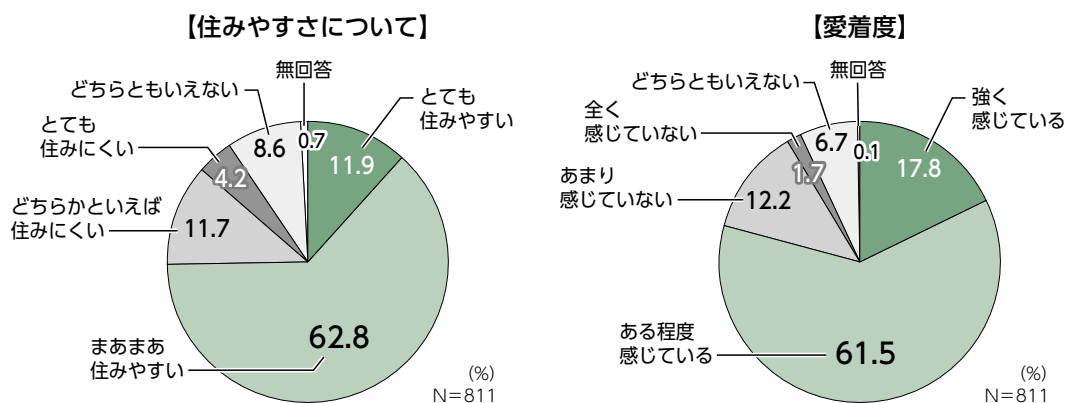
(2) 結果概要

① 竹原市での暮らしの評価について

竹原市の住みやすさについて、「まあまあ住みやすい」が62.8%と最も多く、「とても住みやすい」（11.9%）を合わせると7割以上の方が『住みやすい』と評価しています。

竹原市について愛着を感じているかについて、「ある程度感じている」が61.5%と最も多く、「強く感じている」（17.8%）を合わせると約8割の方が『愛着を感じる』と評価しています。

図1 竹原市での暮らしの評価

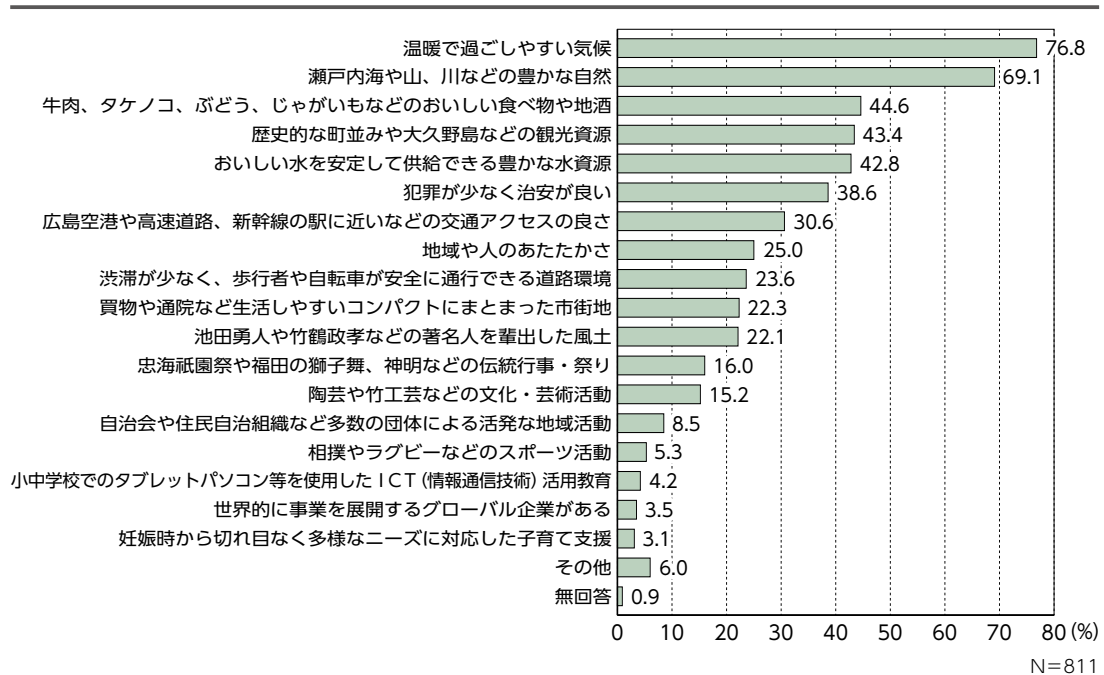


②竹原市の強み

竹原市の強み（良いところ）について、「温暖で過ごしやすい気候」（76.8%）、「瀬戸内海や山、川などの豊かな自然」（69.1%）が顕著に高くなっています。

次いで、「牛肉、タケノコ、ぶどう、じゃがいもなどおいしい食べ物や地酒」（44.6%）、「歴史的な町並みや大久野島などの観光資源」（43.4%）、「おいしい水を安定して供給できる豊かな水資源」（42.8%）、「犯罪が少なく治安が良い」（38.6%）などとなっています。

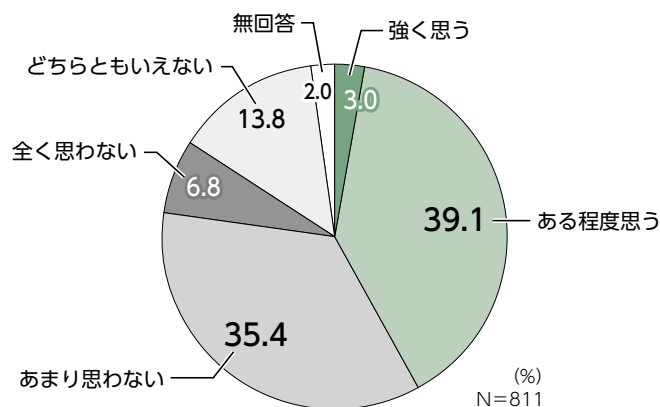
図2 竹原市の強み



③他地域から移り住む人にとって、竹原市は魅力があるか

竹原市は他地域から移り住む人にとって、魅力あるまちであるかについて、「ある程度思う」が39.1%と最も多く、次いで「あまり思わない」（35.4%）となっています。

図3 他地域から移り住む人にとって魅力あるまち

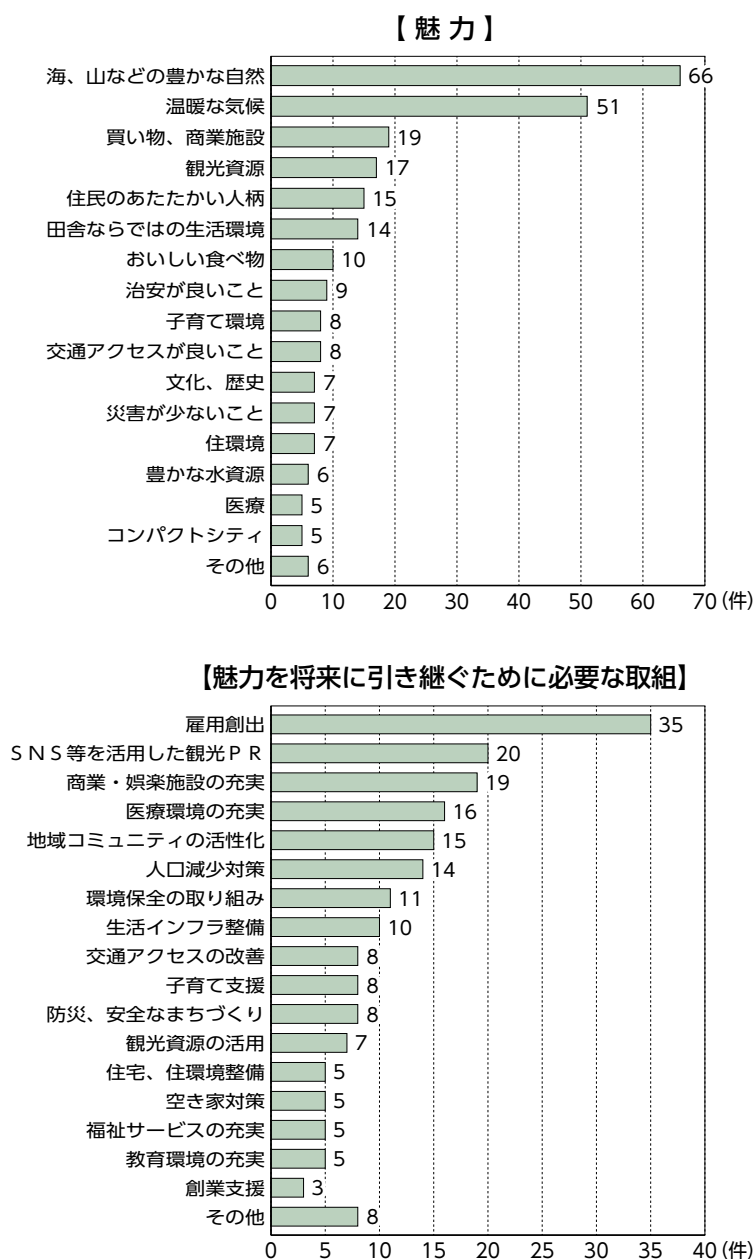


④竹原市の魅力、魅力を将来に引き継ぐために必要な取組

竹原市の魅力、魅力を将来に引き継ぐために必要な取組について、問5において「魅力あるまちだと思う」（「強く思う」と「ある程度思う」の合計）を選択した回答者の自由意見をみると、竹原市の魅力では、「海、山などの豊かな自然」に関する内容が66件と顕著に多く、次いで「温暖な気候」に関する内容51件となっています。

また、竹原市の魅力を将来に引き継ぐために必要な取組では、「雇用創出」に関する内容が35件と顕著に多く、次いで「SNS等を活用した観光PR」（20件）、「商業・娯楽施設の充実」（19件）、「医療環境の充実」（16件）などとなっています。

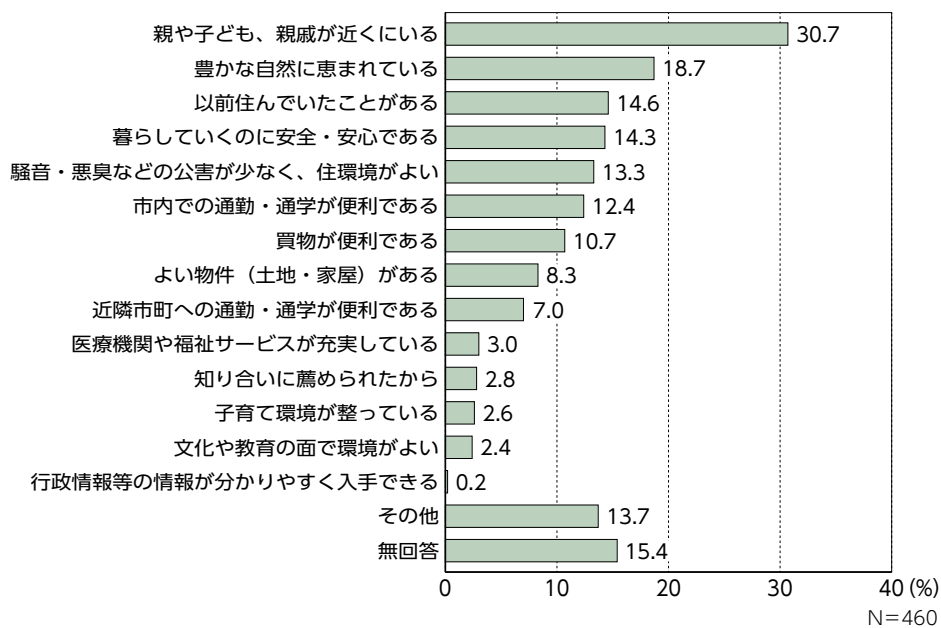
図4 竹原市の魅力、魅力を将来に引き継ぐために必要な取組



⑤ 移住経験のある人が竹原市に住む際に重視したこと

移住経験のある人が竹原市に住む際に重視したことについて、「親や子ども、親戚が近くにいる」が30.7%と最も高く、次いで「豊かな自然に恵まれている」（18.7%）などとなっています。

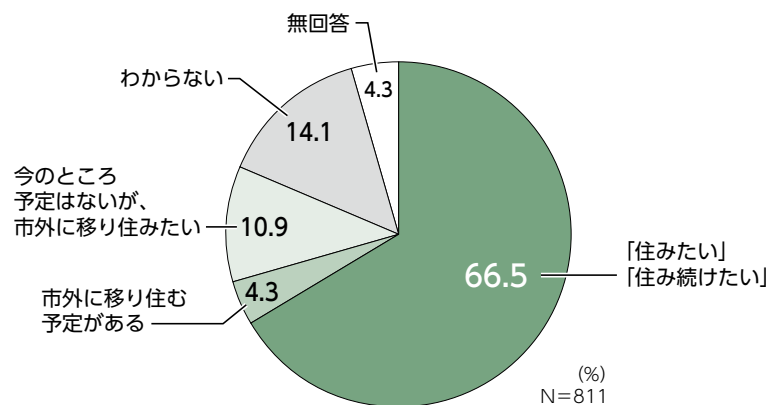
図5 移住経験のある人が竹原市に住む際に重視したこと



⑥ 今後の居住意向

今後も竹原市に住み続けたいかについて、「住みたい」「住み続けたい」が66.5%と過半数を占めています。

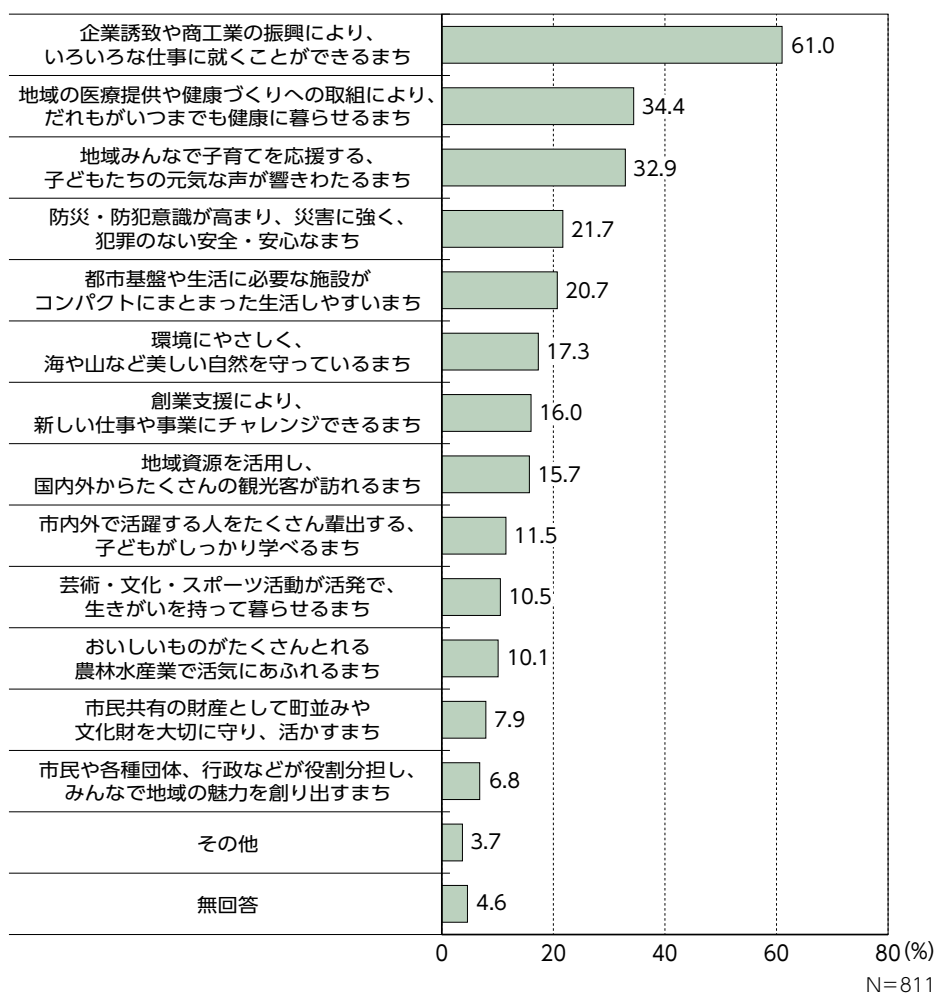
図6 今後の居住意向



⑦ “魅力あるまち” となるために必要なこと

市外の人が竹原市で住みたいと思えるような“魅力あるまち”となるために必要なことについて、「企業誘致や商工業の振興により、いろいろな仕事に就くことができるまち」が61.0%と最も高く、次いで「地域の医療提供や健康づくりへの取組により、だれもがいつまでも健康に暮らせるまち」(34.4%)、「地域みんなで子育てを応援する、子どもたちの元気な声が響きわたるまち」(32.9%) などとなっています。

図7 “魅力あるまち” となるために必要なこと



6

資料編

⑧竹原市で取り組んでいる分野別の満足度・重要度について

竹原市で取り組んでいる暮らしに関する 34 分野について、重要度と満足度の回答結果を得点化し、横軸を満足度、縦軸を重要度とする相関図を作成しました。相関図上の満足度・重要度の全分野平均値で区切られた 4 領域により、各分野の竹原市における位置づけを確認しました。

各分野の位置づけをみると、A 領域（重点化・見直し領域）12 分野、B 領域（現状維持領域）6 分野、C 領域（現状維持・見直し領域）10 分野、D 領域（改善・見直し領域）6 分野となりました。

図 8 満足度・重要度の相関図

図 8 満足度・重要度の相関図

縦軸：重要度 (1.0 - 1.8)
横軸：満足度 (-0.6 - 0.6)

全分野平均値：満足度 -0.138, 重要度 1.420

各分野の位置づけと説明：

- A 領域 (重点化・見直し領域):** 8 市民の結婚・妊娠・出産の希望をかなえるための支援体制が整っている、13 雇用が確保され、産業力を高め支える多様な人材が育っている、7 持続可能な公共交通体系が構築されている、14 創業が起こり、事業者が育ち、商工業が発展し、賑わいのあるまちになっている、23 空き家対策や住宅の耐震化改修等が進み、安心して住みやすい住環境が形成されている、15 農林水産業の担い手が育ち、市内農林水産品が域内外へ流通している、6 良好な居住環境があり、都市機能の集積と賑わいが創出されている、4 観光客の滞在時間が延び、観光消費額が増加している、12 多くの人が地域の魅力づくり・課題解決に関わり、住みよいまちづくりが進められている、11 多彩な生涯学習の場が充実している、24 緑あふれる公園で人々が憩い、発に交流できている
- B 領域 (現状維持領域):** 25 安全で安心な水が安定的に供給されている
- C 領域 (現状維持・見直し領域):** 2 歴史と文化財が保存・継承され、地域の活性化に活かされている、3 自然や歴史的な町並みなどの活用により竹原らしい景観が創出されている、16 一人一人の人権が大切にされている、17 男女がお互いを認め、ともに支え合っている、18 いくつになっても活躍できる健康づくりが推進されている、21 住民同士が助け合い支え合いながら安心して生活を送れている、30 防犯活動や消費者行政が推進されている、31 役所・支所等の窓口対応は良い、19 高齢になっても、いつまでも住み慣れた地域でその人らしく自立し、安心して暮らしている環境がある、29 交通安全の意識啓発と交通環境の整備がなされている、20 障害のある人も、地域でその人らしく自立した生活を送れる環境がある、26 汚水処理や雨水対策を行い、安全で安心な、環境に優しいまちになっている
- D 領域 (改善・見直し領域):** 1 環境への負荷を低減しながら、自然と調和した美しいまちを受け継いでいる、9 安心して楽しく子育てができる環境が整い、子供たちが健やかに成長している、10 学校教育や地域活動を通じて、子供たちが夢をもち、社会を主体的に生き抜くことができる育成がなされている、22 道路や港など災害に強い社会基盤が整っている、28 災害に強いまちになっている、32 竹原市の市政の情報は、市民によく伝わっている、33 竹原市の市政は、市民の意見をよく反映している、34 竹原市は効率的な財政運営を行っている

N=811

(注) 図中の太線は重要度・満足度の全分野平均値 (満足度：-0.138 重要度：1.420) を示す。

172

A領域では、「28 災害に強いまちになっている」の重要度が全分野で最も高いものの、満足度はやや低いことが見受けられます。

B領域では、「25 安全で安心な水が安定的に供給されている」の重要度・満足度の高さが際立っています。

C領域では、「31 役所・支所等の窓口対応は良い」の重要度はそれほど高くないものの、満足度は高いことが見受けられます。

D領域では、「24 緑あふれる公園で人々が憩い、活発に交流できている」の重要度が全分野で最も低く、満足度も低いことが見受けられます。

表1 各分野の領域の位置づけ

A領域 (重点化・見直し領域)	B領域 (現状維持領域)
<ul style="list-style-type: none"> 5 市民が住み続けたい思い、市外の人たちが住みたいと思うまちになっている 7 持続可能な公共交通体系が構築されている 8 市民の結婚・妊娠・出産の希望をかなえるための支援体制が整っている 9 安心して楽しく子育てができる環境が整い、子供たちが健やかに成長している 10 学校教育や地域活動を通じて、子供たちが夢をもち、社会を主体的に生き抜くことができる育成がなされている 2-3 商工業の振興 13 雇用が確保され、産業力を高め支える多様な人材が育っている 14 創業が起こり、事業者が育ち、商工業が発展し、賑わいのあるまちになっている 22 道路や港など災害に強い社会基盤が整っている 23 空き家対策や住宅の耐震化改修等が進み、安心して住みやすい住環境が形成されている 28 災害に強いまちになっている 34 竹原市は効率的な財政運営を行っている 33 竹原市の市政は、市民の意見をよく反映している <p style="text-align: right;">12分野</p>	<ul style="list-style-type: none"> 19 高齢になっても、いつまでも住み慣れた地域でその人らしく自立し、安心して暮らし続けている環境がある 20 障害のある人も、地域でその人らしく自立した生活を送れる環境がある 25 安全で安心な水が安定的に供給されている 26 汚水処理や雨水対策を行い、安全で安心な、環境に優しいまちになっている 27 ごみの減量化や3Rの推進等により、環境にやさしい、清潔で快適なまちをつくっている 29 交通安全の意識啓発と交通環境の整備がなされている <p style="text-align: right;">6分野</p>
D領域 (改善・見直し領域)	C領域 (現状維持・見直し領域)
<ul style="list-style-type: none"> 4 観光客の滞在時間が延び、観光消費額が増加している 6 良好な居住環境があり、都市機能の集積と賑わいが創出されている 11 多彩な生涯学習の場が充実している 12 多くの人々が地域の魅力づくり・課題解決に関わり、住みよいまちづくりが進められている 15 農林水産業の担い手が育ち、市内農林水産品が域内外へ流通している 24 緑あふれる公園で人々が憩い、活発に交流できている <p style="text-align: right;">6分野</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1 環境への負荷を低減しながら、自然と調和した美しいまちを受け継いでいる 2 歴史と文化財が保存・継承され、地域の活性化に活かされている 3 自然や歴史的な町並みなどの活用により竹原らしい景観が創出されている 16 一人一人の人権が大切にされている 17 男女がお互いを認め、ともに支え合っている 18 いくつになっても活躍できる健康づくりが推進されている 21 住民同士が助け合い支え合いながら安心して生活を送れている 30 防犯活動や消費者行政が推進されている 31 役所・支所等の窓口対応は良い 32 竹原市の市政の情報は、市民によく伝わっている <p style="text-align: right;">10分野</p>

⑨概ね5年前との比較

竹原市で取り組んでいる暮らしに関する34分野について、概ね5年前と比較して良くなったか、悪くなったかをみると、「27 ごみの減量化や3Rの推進等により、環境にやさしい、清潔で快適なまちをつくっている」で『良くなった』（「良くなった」と「やや良くなった」の合計）の割合が42.0%と最も高く、次いで「3 自然や歴史的な町並みなどの活用により竹原らしい景観が創出されている」（34.9%）で『良くなった』の割合が30%を超えています。

また、『悪くなった』（「悪くなった」と「やや悪くなった」の合計）の割合は、「14 創業が起こり、事業者が育ち、商工業が発展し、賑わいのあるまちになっている」が28.0%と最も高く、次いで「8 市民の結婚・妊娠・出産の希望をかなえるための支援体制が整っている」（26.5%）、「13 雇用が確保され、産業力を高め支える多様な人材が育っている」（25.8%）、「7 持続可能な公共交通体系が構築されている」（25.2%）で25%を超えています。

図9 概ね5年前との比較

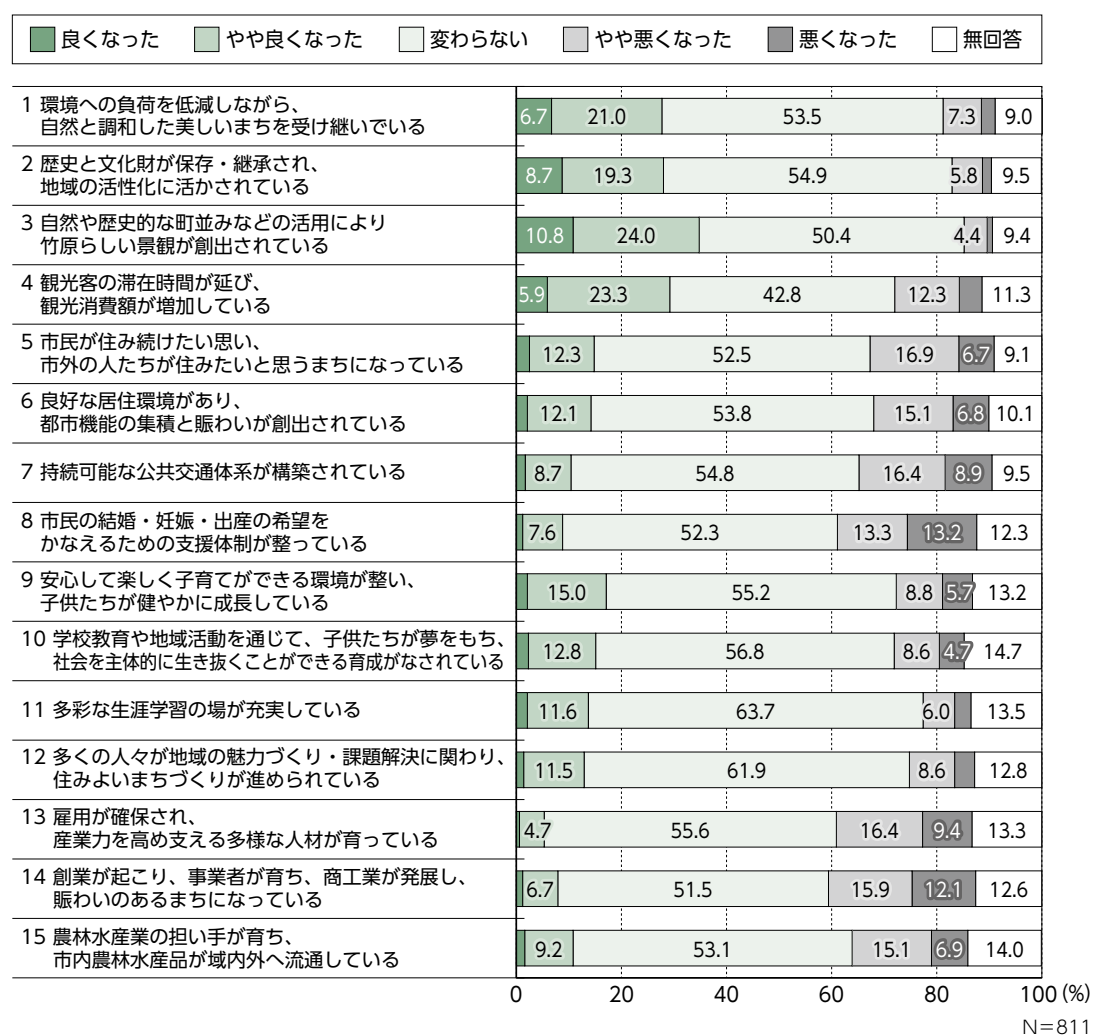
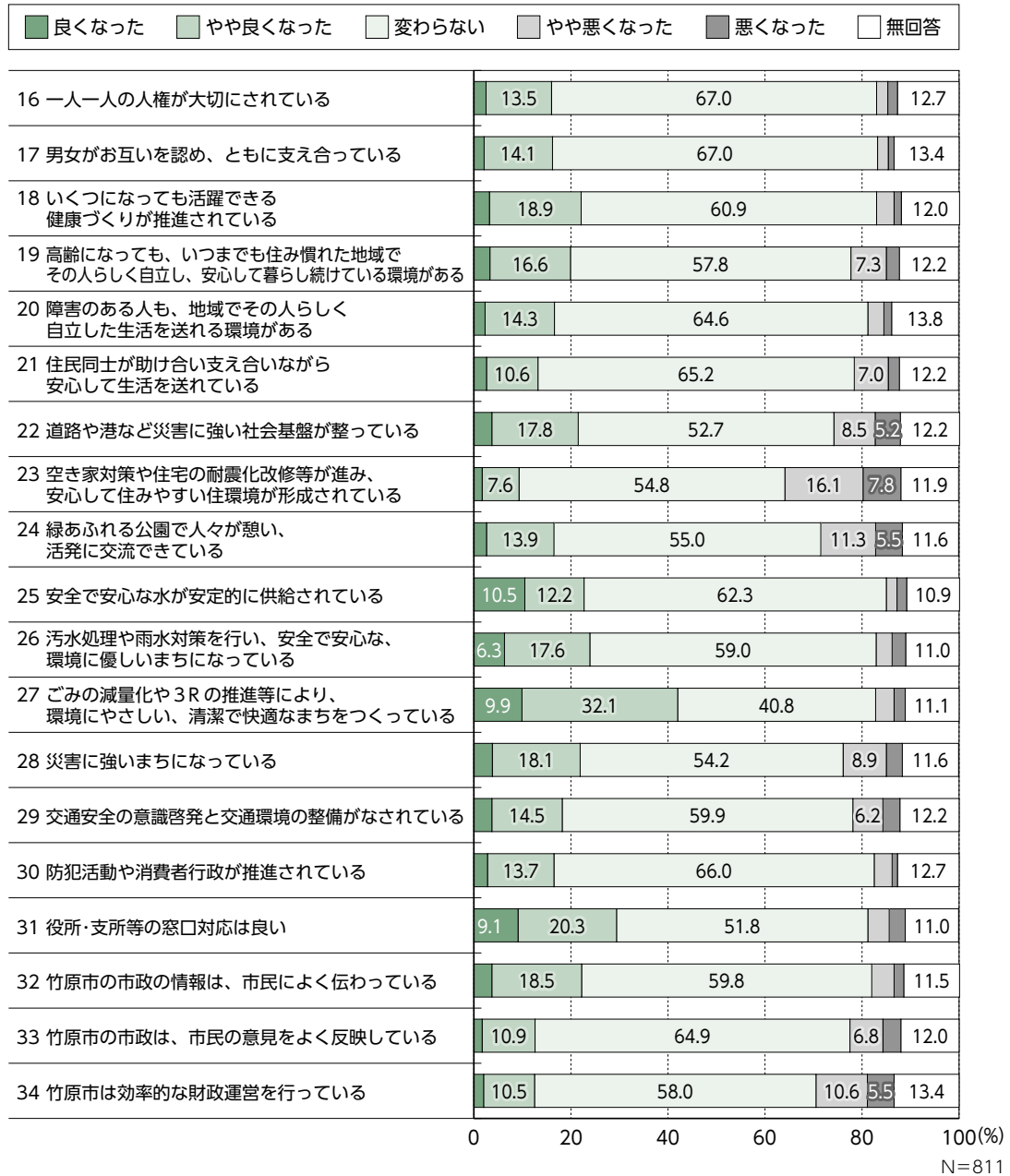


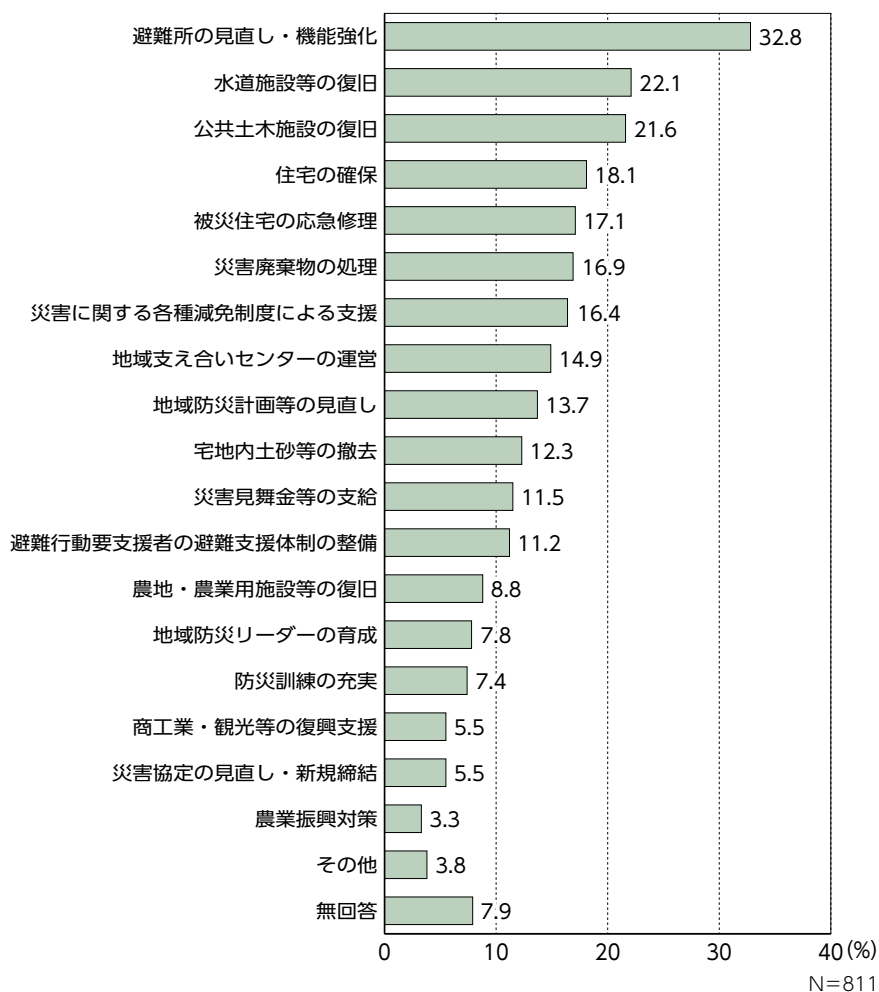
図9 概ね5年前との比較（続き）



⑩平成 30 年 7 月豪雨災害からの復旧・復興で、より重点的に進めるべき取組

平成 30 年 7 月豪雨災害からの復旧・復興で、より重点的に進めるべき取組について、「避難所の見直し・機能強化」(32.8%) が最も多く、次いで「水道施設等の復旧」(22.1%)、「公共土木施設の復旧」(21.6%) などとなっています。

図 10 平成 30 年 7 月豪雨災害からの復旧・復興で、より重点的に進めるべき取組



(参考資料) 第6次竹原市総合計画後期基本計画策定に向けたアンケート調査票

アンケート調査票

第6次竹原市総合計画後期基本計画策定に向けたアンケート調査

日頃より市政に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、竹原市においては、平成31年3月、『元氣と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。』を将来都市像とした竹原市総合計画（基本構想、基本計画等）を策定しています。この計画を構成する基本計画は、前期と後期に分けており、前期基本計画の計画期間が平成31年度～令和5年度の5か年であることから、新たに後期基本計画をつくる時期となっています。

そこで、竹原市にお住まいの18歳以上の皆さまの中から、無作為に抽出した2,500人を対象に、アンケート調査をお願いすることにいたしました。
このアンケート調査は無記名で、調査の結果は統計的に処理しますので、個人が特定されることはなく、皆さまにご迷惑をおかけすることはありません。
なお、アンケート調査の集計結果は、竹原市ホームページ上で掲載する予定としています。お忙しい時期とは存じますが、趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をお願いいたします。

令和5年1月
竹原市長 今 榮 敏 彦

■ご記入に当たってのお願い

1 この調査票は、**封筒のあて名の方**に回答をお願いいたします。
（事情によって、ご本人がご記入できない場合は、代理の方が聞き取りによりご記入されるか、代わりの世帯員の方がご記入ください。）

2 各設問の回答は、当てはまる**選択肢の番号に○印**を付けてください。（1つの場合と複数の場合があります。）
「その他」を選ばれた場合は、必要に応じて「（ ）」に内容などをご記入ください。
また、ご自由に記入していただく欄があります。

■調査票の回収

ご記入いただきました調査票は、おそれいりますが令和5年1月31日(火)までに、同封しております**返信用封筒（切手をはる必要はありません）**にてお送りください。

■問い合わせ先

〒725-8666 竹原市中央五丁目1番35号
竹原市総務企画部企画政策課 電話(0846)22-0942（担当：川本）

1 あなたご自身のことについて

問1 次の1-1～1-7について、それぞれあてはまるものをお答えください。
(それぞれ○印は1つ)

1-1 性別は？	1 男性	2 女性	3 その他	4 回答しない
1-2 年齢は？	1 18～19歳	2 20～29歳	3 30～39歳	
	4 40～49歳	5 50～59歳	6 60～69歳	
	7 70～79歳	8 80歳以上		
1-3 お住まいの地区は？	1 竹原地区(竹原町, 下野町, 小梨町を含む)			
	2 北部地区(東野町, 新庄町, 西野町, 仁賀町, 田万里町)			
	3 吉名地区			
	4 大乗地区(高崎町, 福田町)			
	5 患海地区			
1-4 竹原市での居住年数は？ ※市外に出られた経験のある方は、竹原市での合計の年数	1 5年未満	2 5年～10年未満		
	3 10年～20年未満	4 20年～30年未満		
	5 30年以上			
1-5 家族の人数は？ (あなた自身を含む)	1 1人(単身世帯)	2 2人	3 3人	
	4 4人	5 5人	6 6人以上	
1-6 65歳以上の方は？ (あなた自身を含む)	1 いる	2 いない		
1-7 乳児～小学生の方は？	1 いる	2 いない		

2 竹原市での暮らしの評価について

問2 竹原市は住みやすいですか？

1 とても住みやすい	2 まあまあ住みやすい
3 どちらかといえば住みにくい	4 とても住みにくい
5 どちらともいえない	

問3 竹原市に愛着を感じていますか？

1 強く感じている	2 ある程度感じている
3 あまり感じていない	4 全く感じていない
5 どちらともいえない	

- 1 -

問4 竹原市の強み(良いところ)は何ですか？ (該当するものに○印(いくつでも))

1 瀬戸内海や山、川などの豊かな自然
2 温暖で過ごしやすい気候
3 歴史的な町並みや大久野島などの観光資源
4 池田勇人や竹鶴政孝などの著名人を輩出した風土
5 忠海紙園祭や福田の獅子舞、神明などの伝統行事・祭り
6 陶芸や竹工芸などの文化・芸術活動
7 相撲やラグビーなどのスポーツ活動
8 牛肉、タケノコ、ぶどう、じゃがいもなどのおいしい食べ物や地酒
9 世界的に事業を展開するグローバル企業がある
10 おいしい水を安定して供給できる豊かな水資源
11 妊娠時から切れ目なく多様なニーズに対応した子育て支援
12 小中学校でのタブレットパソコン等を使用したICT(情報通信技術)活用教育
13 買物や通院など生活しやすいコンパクトにまとまった市街地
14 広島空港や高速道路、新幹線の駅に近いなどの交通アクセスの良さ
15 渋滞が少なく、歩行者や自転車が安全に通行できる道路環境
16 犯罪が少なく治安が良い
17 自治会や住民自治組織など多数の団体による活発な地域活動
18 地域や人のあたたかさ
19 その他(思いつくもの全てをご記入ください)

問5 竹原市は他地域から移り住む人にとって、魅力あるまちだと思いますか？

1 強く思う	2 ある程度思う
3 あまり思わない	4 全く思わない
5 どちらともいえない	

問6 問5の魅力は何だと思いますか？また、その魅力を将来に引き継いでいくためには、どのような取組が必要だと思いますか？
魅力がないまちだと思う場合、今後魅力あるまちにするために必要なものは何だと思いますか？(ご自由にお書きください)

3 定住意識について

問7 あなたが竹原市に住まわれたきっかけは何ですか？ (1つだけに○印)

1 ずっと竹原市に住んでいる
2 就職・転職
3 仕事の都合
4 進学
5 親や子、孫との同居・近居
6 親や親戚等の介護
7 結婚
8 妊娠・出産
9 子育て
10 田舎暮らしへの憧れ
11 定年退職・早期退職
12 その他()

問8 問7で「1」以外を選ばれた方におたずねします。
住まわれる際に重視されたことは何ですか？ (3つまでに○印)

1 豊かな自然に恵まれている
2 市内での通勤・通学が便利である
3 近隣市町への通勤・通学が便利である
4 買物が便利である
5 以前住んでいたことがある
6 文化や教育の面で環境が良い
7 医療機関や福祉サービスが充実している
8 子育て環境が整っている
9 騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境が良い
10 親や子ども、親戚が近くにいる
11 暮らしていくのに安全・安心である
12 行政情報等の情報が分かりやすく入手できる
13 よい物件(土地・家屋)がある
14 知り合いに薦められたから
15 その他()

- 3 -

6
資料編

問9 あなたは、これからも竹原市に「住みたい」「住み続けたい」ですか？
(1つだけに○印)

1 「住みたい」「住み続けたい」 → 問10へ
2 市外に移り住む予定がある → 問11へ
3 今のところ予定はないが、市外に移り住みたい → 問11へ
4 わからない → 問14以降へ

<問9で「1」を選ばれた方> <問9で「2」または「3」を選ばれた方>

問10 「住みたい」「住み続けたい」理由は何ですか？
(主な理由3つまで○印)

1 住み慣れた地域に愛着がある
2 近所づきあいなど地域の人のつながりがある
3 親、兄弟や親戚が近くにいる
4 親などの介護や面倒をみる必要がある
5 自分の土地や家がある
6 住宅に満足している(家賃、広さ、設備など)
7 自然環境、気候に恵まれている
8 上下水道や道路、公園などの基盤が整っている
9 医療や福祉サービスが充実している
10 子育てしやすい
11 教育や文化活動の環境が良い
12 買い物や通学などが便利
13 安全・安心で豊かな食料と食文化がある
14 治安や風紀が良い
15 仕事や事業・商売の都合が良い(都合がある)
16 その他()

問11 「市外に移り住む」または「市外に移り住みたい」理由は何ですか？
(主な理由3つまで○印)

1 地域に愛着や魅力を感じない
2 近所づきあいなどが良くない
3 親、兄弟や親戚などから遠い(親などが他の市町村にいる)
4 竹原市では親などの介護や面倒をみるのが難しい
5 他の市町村に自分の土地や家がある(または、これから購入する)
6 住宅に不満がある(家賃、広さ、設備など)
7 自然環境に恵まれていない
8 上下水道や道路、公園等の基盤が整っていない
9 医療や福祉サービスが充実していない
10 子育てしにくい
11 教育や文化活動の環境が整っていない
12 買い物や通学などが不便
13 治安や風紀が悪い
14 職場(転勤など)や事業・商売の都合で移動する必要がある
15 進学や就職、結婚など家庭の事情
16 市外の親世帯(子世帯)との同居
17 その他()

問12 あなたは、今後、竹原市外に移り住んだとした場合、いずれは竹原市にもどって住みたい(Uターンしたい)と思いますか？
(1つだけに○印)

1 是非とも竹原市にもどって住みたい → 問13へ
2 できれば竹原市にもどって住みたい → 問13へ
3 竹原市にもどって住むことは考えていない → 問14へ
4 わからない → 問14へ

問13 あなたは、なぜ竹原市にもどって住みたいと思いますか？ (3つまでに○印)

1 住み慣れた地域に愛着がある
2 近所づきあいなど地域の人のつながりがある
3 親、兄弟や親戚が近くにいる
4 親などの介護や面倒をみる必要がある
5 自分の土地や家がある
6 住宅に満足している(家賃、広さ、設備など)
7 自然環境、気候に恵まれている
8 上下水道や道路、公園などの基盤が整っている
9 医療や福祉サービスが充実している
10 子育てしやすい
11 教育や文化活動の環境が良い
12 買い物や通学などが便利
13 安全・安心で豊かな食料と食文化がある
14 治安や風紀が良い
15 仕事や事業・商売の都合が良い(都合がある)
16 その他()

4: 竹原市の将来について

問14 人口減少や少子高齢化など様々な課題を抱える中、今お住まいの皆さまだけでなく、市外へ出た人が竹原にもどり、市外の人が住みたいと思うような「魅力あるまち」となるためには、何が必要だと思いますか？イメージに近いものを選んでください。
(3つまでに○印)

1 地域みんなで子育てを応援する、子どもたちの元気な声が響きわたるまち
2 市内外で活躍する人をたくさん輩出する、子どもがしっかり学べるまち
3 芸術・文化・スポーツ活動が活発で、生きがいを持って暮らせるまち
4 企業誘致や商工業の振興により、いろいろな仕事に就くことができるまち
5 創業支援により、新しい仕事や事業にチャレンジできるまち
6 おいしいものがたくさんとれる農林水産産物で活気にあふれるまち
7 地域資源を活用し、国内外からたくさんのお客が訪れるまち
8 地域の医療提供や健康づくりへの取組により、だれもがいつまでも健康に暮らせるまち
9 市民共有の財産として町並みや文化財を大切に守り、活かすまち
10 環境にやさしく、海や山など美しい自然を守っているまち
11 都市基盤や生活に必要な施設がコンパクトにまとまった生活しやすいまち
12 防災・防犯意識が高まり、災害に強く、犯罪のない安全・安心なまち
13 市民や各種団体、行政などが役割分担し、みんなで地域の魅力を創り出すまち
14 その他()

5: 竹原市で取り組んでいる分野別の満足度・重要度について

問15 竹原市での暮らしに関して、現在の分野別にみた評価(満足度)はどうか？また、概ね5年前と比べてどうなりましたか？さらに今後、市が行う取組での重要度はどうか？(5年前に住んでおられない方は、以前と比べてお答えください。)
(それぞれ○印は1つ)

	現在の評価					概ね5年前との比較					今後の重要度				
	満足	やや満足	まあまあ	不満	大変不満	やや良くなった	良くなった	変わらな	悪くなった	悪くなった	重要である	やや重要	まあまあ	重要でない	重要でない
記入例	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1 環境への負担を低減しながら、自然と調和した美しいまちを受け継いでいる 【自然環境・景観の継承と活用】	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 歴史と文化財が保存・継承され、地域の活性化に活かされている 【歴史・文化財の保全・継承と活用】	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 自然や歴史的な町並みなどの活用により竹原らしい景観が創出されている 【竹原らしい景観の活用】	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 観光客の滞在時間が伸び、観光消費額が増加している 【観光・交流の振興】	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 市民が住み続けたい思い、市外の人が住みたいと思うまちになっている 【移住・定住の促進】	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 良好な居住環境があり、都市機能の集積と広がりが創出されている 【コンパクトシティの形成】	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 持続可能な公共交通体系が構築されている 【公共交通対策の推進】	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
子育て・教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8 市民の結婚・妊娠・出産の希望をかなえるための支援体制が整っている 【結婚・妊娠・出産の支援推進】	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9 安心して楽しく子育てができる環境が整い、子供たちが健やかに成長している 【子育て支援の推進】	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10 学校教育や地域活動を通じて、子供たちが夢をもち、社会を主体的に生き抜くことができる育成がなされている 【学校教育の充実】	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
市民活動	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11 多様な生涯学習の場が充実している 【生涯学習の推進】	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12 多くの人が地域の魅力づくり・課題解決に関わり、住みよいまちづくりが進められている 【協働のまちづくりの推進】	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
雇用・産業	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13 雇用が確保され、産業界を高め支える多様な人材が育っている 【雇用創出・産業界育成の推進】	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14 創業が盛んになり、事業者が育ち、高工業が発展し、雇用のあるまちになっている 【高工業の振興】	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15 農林水産業の担い手が育ち、市内農林水産品が域内外へ流通している 【農林水産業の振興】	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

178

	現在の評価	概ね5年前との比較					今後の重要度							
		満足 やや満足	まあ満足	不満足	悪くなった	悪くならなかった	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない				
人権・健康・福祉	16 一人一人の人権が大切にされている 【人権推進】	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	17 男女がお互いを認め、ともに支え合っている 【男女共同参画社会の構築】	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	18 いくつになっても活躍できる健康づくりが推進されている 【健康づくりの推進】	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	19 高齢になっても、いつまでも住み慣れた地域でその人らしく自立し、安心して暮らし続けられている環境がある 【高齢者福祉の推進】	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	20 障害のある人も、地域でその人らしく自立した生活を送れる環境がある 【障がい者福祉の推進】	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	21 住民同士が助け合い支え合いつながりながら安心して生活を送っている 【地域福祉の推進】	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
生活基盤	22 道路や思など災害に強い社会基盤が整っている 【道路網・堤防の整備】	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	23 空き家対策や住宅の耐震化改修等が進み、安心して住みやすい住環境が形成されている 【居住環境の整備】	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	24 緑あふれる公園で人々が憩い、活発に交流できている 【公園の整備】	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4

	現在の評価	概ね5年前との比較					今後の重要度							
		満足 やや満足	まあ満足	不満足	悪くなった	悪くならなかった	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない				
生活基盤	25 安全で安心な水が安定的に供給されている 【上水道の整備】	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	26 汚水処理や雨水対策を行い、安全で安心な、環境に優しいまちになっている 【下水道の整備】	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	27 こまの減量化や3Rの推進等により、環境にやさしい、清潔で快適なまちをつくっている 【循環型社会の構築】	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	安全・安心	28 災害に強いまちになっている 【防災・備災の推進】	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3
29 交通安全の意識啓発と交通環境の整備がなされている 【交通安全の推進】		1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
30 防災活動や消費者行政が推進されている 【防災・消費者行政の推進】		1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
行政運営		31 役所・支所等の窓口対応は良い 【窓口対応の改善】	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3
	32 竹原市の市政情報は、市民によく伝わっている 【情報発信力の強化】	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	33 竹原市の市政は、市民の意見をよく反映している 【広聴機能の充実】	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	34 竹原市は効率的な財政運営を行っている 【財政効率化の推進】	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4

6. 平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興について

問 16 第6次竹原市総合計画では、平成30年7月豪雨災害から復旧・復興に向けて「#がんばろう竹原」(平成30年7月豪雨災害 竹原市復旧・復興プラン)を合わせて策定し、「みんなでつくる「元気・笑顔あふれる強い竹原市の実現」を基本方針として、各種事業を実施してきました。

あなたは、こうした取組(下記参照)が、平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興につながっていると思いますか? (1つだけに○印)

＜参考：実施した(している)主な取組＞

実施策第1「くらしの再建」	実施策第2「まちの復旧」	実施策第3「そなえの強化」
○地域支え合いセンターの運営	○公共土木施設の復旧	○地域防災計画等の見直し
○住宅の確保	○農地・農業用施設等の復旧	○地域防災リーダーの育成
○被災住宅の応急修理	○水道施設等の復旧	○災害協定の見直し・新規締結
○宅地内土砂等の撤去	○農業振興対策	○避難所の見直し・機能強化
○災害廃棄物の処理	○商工業・観光等の復興支援	○防災訓練の充実
○災害見舞金等の支給		○避難行動要支援者の避難支援体制の整備
○災害に関する各種減免制度による支援		

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 そう思う | 2どちらかというと、そう思う |
| 3 あまりそうは思わない | 4 そうは思わない |
| 5 わからない | 6 その他 () |

問 17 平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興で、より重点的に進めるべきとお考えの取組をお答えください? (3つまでに○印)

1 地域支え合いセンターの運営	2 住宅の確保
3 被災住宅の応急修理	4 宅地内土砂等の撤去
5 災害廃棄物の処理	6 災害見舞金等の支給
7 災害に関する各種減免制度による支援	8 公共土木施設の復旧
9 農地・農業用施設等の復旧	10 水道施設等の復旧
11 農業振興対策	12 商工業・観光等の復興支援
13 地域防災計画等の見直し	14 地域防災リーダーの育成
15 災害協定の見直し・新規締結	16 避難所の見直し・機能強化
17 防災訓練の充実	18 避難行動要支援者の避難支援体制の整備
19 その他 ()	

7. 竹原市のまちづくりなどについて、ご意見・ご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。(自由記入欄)

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

2

第6次竹原市総合計画前期基本計画指標の進捗状況一覧

評価方法

「めざす目標」を次の評価区分により評価

評価区分	評価の内容
A：順調	前期目標を既に達成している（達成が見込める）
B：概ね順調	前期目標に向けて、成果指標の値が改善している
C：やや遅れ	基準値と比較して、成果指標の値が悪化している
D：遅れ	基準値と比較して、成果指標の値が悪化しており、達成が見込めない

○総合計画全体についての評価結果

将来像								
目標像	分野数	成果指標数 E	評価区分				(概ね)順調の率 (A+B)/E	
			順調 A	概ね順調 B	やや遅れ C	遅れ D		
1 自然・歴史・文化に育まれ、人々に守られ磨かれた資源が人々を魅了する賑わいのあるまち								
1	竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれている	6	21	8	2	6	5	47.6%
2 “文教のまちたけはら”の精神を受け継ぎ、地域を支え、世界中で活躍する人々を輩出するまち								
2	子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	3	14	9	1	3	1	71.4%
3	市民一人一人が自ら学び、様々な場面で協力しながら活躍している	2	5	0	4	1	0	80.0%
3 誰もがいつまでもいきいきと自分らしく輝く活力と優しさがあふれるまち								
4	様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	3	9	3	5	0	1	88.9%
5	誰もがお互いに尊重し合い、いつまでもはつらつと活躍している	6	21	5	5	10	1	47.6%
4 瀬戸内の恵まれた風土と市民の絆のもと、誰もが安全・安心で快適に生活できるまち								
6	生活の基盤が整備され、快適に暮らしている	4	14	6	1	7	0	50.0%
7	市民が支え合う絆を大切にし、安全・安心な生活環境が確保されている	2	9	4	3	2	0	77.8%
計		26	93	35	21	29	8	60.2%

○基本施策についての評価結果

節	基本施策	成果指標数E	評価区分				達成率(A+B)/E
			A	B	C	D	
1	竹原らしさを感じるまちに人々が集まり賑わいが生まれている	21	8	2	6	5	47.6%
1	自然環境・景観の継承と活用	4	3	0	1	0	75.0%
2	歴史・文化財の保全・継承と活用	4	3	0	1	0	75.0%
3	竹原らしい景観の活用	1	0	0	1	0	0%
4	観光・交流の振興	5	0	0	0	5	0%
5	移住・定住の促進	4	2	2	0	0	100%
6-1	コンパクトシティの形成	2	0	0	2	0	0%
6-2	公共交通対策の推進	1	0	0	1	0	0%
2	子供たちが夢の実現に向け挑戦できる環境が確保されている	14	9	1	3	1	71.4%
1	結婚・妊娠・出産の支援体制	2	2	0	0	0	100%
2	子育て支援の推進	4	3	0	0	1	75.0%
3	学校教育の充実	8	4	1	3	0	62.5%
3	市民一人一人が自ら学び、様々な場面で協力しながら活躍している	5	0	4	1	0	80.0%
1	生涯学習の推進	3	0	3	0	0	100%
2	協働のまちづくりの推進	2	0	1	1	0	50.0%
4	様々な仕事に挑戦できる元気な産業が育ち、活気に満ちている	9	3	5	0	1	88.9%
1	雇用創出・産業人材育成の推進	2	0	2	0	0	100%
2	商工業の振興	4	1	3	0	0	100%
3	農林水産業の振興	3	2	0	0	1	66.7%
5	誰もがお互いに尊重し合い、いつまでもはつらつと活躍している	21	5	5	10	1	47.6%
1	人権推進	1	1	0	0	0	100%
2	男女共同参画社会の構築	2	0	2	0	0	100%
3	健康づくりの推進	9	0	0	8	1	0%
4	高齢者福祉の推進	4	3	1	0	0	100%
5	障がい者福祉の推進	2	0	1	1	0	50.0%
6	地域福祉の推進	3	1	1	1	0	66.7%
6	生活の基盤が整備され、快適に暮らしている	14	6	1	7	0	50.0%
1	道路網・港湾の整備	3	2	0	1	0	66.7%
2-1	居住環境の整備	1	1	0	0	0	100%
2-2	公園の整備	2	1	0	1	0	50.0%
3-1	上水道の整備	2	2	0	0	0	100%
3-2	下水道の整備	3	0	0	3	0	0%
4	循環型社会の構築	3	0	1	2	0	33.3%
7	市民が支え合う絆を大切に、安全・安心な生活環境が確保されている	9	4	3	2	0	77.8%
1	防災・減災の推進	5	3	2	0	0	100%
2-1	交通安全の推進	2	1	0	1	0	50.0%
2-2	防犯・消費者行政の推進	2	0	1	1	0	50.0%

3

第6次竹原市総合計画後期基本計画の成果指標一覧

No.	施策番号	指標名	単位	年度・暦年	現在の値 (R4)	最終目標値 (R10)
1	1-1-1	環境学習の参加者数	人	年度	791	900
2	1-1-1	大気質 (SO ₂ 、NO ₂) の環境基準達成率	%	年度	100	100
3	1-1-1	河川水質 (賀茂川水系 BOD75%値) の環境基準達成率	%	年度	100	100
4	1-1-2	文化4施設 (森川邸・松阪邸・光本邸・歴史民俗資料館) 活用日数 (延べ)	日	年度	321	370
5	1-1-2	国・県・市指定及び登録文化財件数 (合計)	件	各年3/31 現在	36	38
6	1-1-2	伝統的建造物群保存地区における保存修理・修景事業の延べ実施件数 (累計)	件	各年3/31 現在	161	168
7	1-1-3	景観まちづくり団体数	団体	各年3/31 現在	0	3
8	1-1-3	景観まちづくり活動 (研修会・イベント等) の実施回数	回	—	7	12
9	1-1-4	観光消費額	百万円	暦年	2,728	8,883
10	1-1-4	総観光客数	千人	暦年	691	1,450
11	1-1-4	竹原市内の宿泊者数 (観光客の旅行形態調査)	千人	暦年	124	280
12	1-1-4	外国人観光客数	人	暦年	653	35,000
13	1-1-4	入込観光客数	千人	暦年	522	1,308
14	1-1-5	移住者数 (市の施策を活用したもの)	人	年度	19	30
15	1-1-5	移住相談数	件	年度	89	140
16	1-1-5	空き家バンク成約件数 (累計)	件	各年3/31 現在	111	183
17	1-1-5	新規創業者数	人	年度	15	30
18	1-1-6	居住誘導区域内の人口密度 (竹原地区)	人/ha	各年1/1 現在	34.1	33.4
19	1-1-6	居住誘導区域内の新規住宅着工割合	%	各年3/31 現在	58.0	65.0
20	2-2-1	妊娠11週以下での妊娠の届出率	%	年度	93.3	現状維持
21	2-2-1	たけっこダイアリー (母子手帳アプリ) の妊婦及び就学前の乳幼児の登録率	%	年度	31.4	71.4
22	2-2-1	この地域で子育てしたいと思う親の割合	%	年度	98.8	現状維持
23	2-2-1	認定こども園等待機児童数	人	各年4/1 現在	0	0

No.	施策番号	指標名	単位	年度・暦年	現在の値 (R4)	最終目標値 (R10)
24	2-2-1	放課後児童クラブ待機児童数	人	各年5/1 現在	0	0
25	2-2-2	今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	%	年度	69.8 (R 5)	80.0
26	2-2-2	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思える児童生徒の割合	%	年度	83.6 (R 5)	90.0
27	2-2-2	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	年度	77.2 (R 5)	80.0
28	2-2-2	基礎学力が定着している児童生徒の状況 (全国学力・学習状況調査の広島県との差を平均したもの)	ポイント	年度	【小学校】 国語 1.6 算数 0.1 (R 5) 【中学校】 国語 ▲0.4 数学 0.9 (R 5)	【小学校】 国語 2.0 算数 1.0 【中学校】 国語 1.0 数学 1.0
29	2-2-2	新体力テストの広島県の平均以上の種目の割合	%	年度	【小学校】 89.0 (R 5) 【中学校】 59.3 (R 5)	【小学校】 90.0 【中学校】 65.0
30	2-3-1	図書館利用 (貸出) 者数 (延べ)	人	年度	33,519	34,000
31	2-3-1	竹原市美術展の応募者数	点	年度	29	30
32	2-3-1	竹原市民スポーツ大会参加者の割合	人	年度	1,088	1,100
33	2-3-1	ピースリーホームバンプー総合公園のスポーツ施設利用者数	人	年度	33,052	34,000
34	2-3-1	地域人材養成講座受講者数 (累計)	人	各年3/31 現在	35	100
35	2-3-2	地域交流センター利用者数 (延べ)	人	年度	78,824	140,000
36	3-4-1	新規就業者数 (累計)	人	各年3/31 現在	292	418
37	3-4-1	ふるさと就職登録希望者数	人	各年3/31 現在	138	300
38	3-4-1	ハローワーク竹原管轄区域内における女性の就職率	%	年度	39.0	40.0
39	3-4-1	ハローワーク竹原管轄区域内における高年齢者 (55 歳以上) の就職率	%	年度	30.7	35.0
40	3-4-1	ハローワーク竹原管轄区域内における障害のある人の就職率	%	年度	40.0	60.0
41	3-4-1	市内コワーキングスペースの利用者数 (延べ)	人	年度	—	2,700
42	3-4-2	市内総生産	百万円	年度	78,799 (R 2)	70,000 (R 7)
43	3-4-2	新規創業者数	人	年度	15	30
44	3-4-2	経営指導員の指導延べ件数 (創業指導)	件	年度	31	70
45	3-4-2	市助成制度を活用した企業立地件数 (累計)	件	年度	1	5

No.	施策番号	指標名	単位	年度・暦年	現在の値 (R4)	最終目標値 (R10)
46	3-4-3	認定農業者数＋漁協新規組合員数 (累計)	人	各年3/31 現在	10	13
47	3-4-3	担い手への農地集積面積 (累計)	ha	各年3/31 現在	83	103
48	3-4-3	6次産業化に取り組む農林水産業経営体数 (累計)	経営体	年度	3	4
49	3-5-1	人が大切にされているまちだと思う割合 (研修会や講演会参加者のアンケート調査)	%	年度	58.8	65.0
50	3-5-2	男女が差別なく、ともに個性と能力を發揮できるまちだと思う人の割合 (研修会や講演会参加者のアンケート調査)	%	年度	45.0	55.0
51	3-5-2	審議会等委員の女性の占める割合	%	年度	31.7	40.0
52	3-5-3	平均自立期間 (要介護2以上) (男性)	歳	年度	79.5 (R 5)	80.5
53	3-5-3	平均自立期間 (要介護2以上) (女性)	歳	年度	84.2 (R 5)	85.0
54	3-5-3	特定健診 (国民健康保険) の受診率	%	年度	38.8 (R 3)	60.0
55	3-5-3	特定保健指導 (国民健康保険) の実施率	%	年度	17.4 (R 3)	60.0
56	3-5-3	胃がん検診の受診率	%	年度	7.7	12.7 (R 9)
57	3-5-3	肺がん検診の受診率	%	年度	6.0	11.0 (R 9)
58	3-5-3	大腸がん検診の受診率	%	年度	7.4	12.4 (R 9)
59	3-5-3	子宮頸がん検診の受診率	%	年度	18.8	23.8 (R 9)
60	3-5-3	乳がん検診の受診率	%	年度	17.4	22.4 (R 9)
61	3-5-3	朝ごはんを毎食食べる人を増やす	%	年度	認定こども園 96 小学校 85 (R 5) 中学校 86 (R 5)	認定こども園 100 小中学校 100
62	3-5-4	在宅生活が困難と感じている人の割合 (在宅介護実態調査)	%	調査時点	12.4 (R 5)	12.0 以下
63	3-5-4	要支援認定率	%	各年3/31 現在	5.03 (R 5)	4.98 以下
64	3-5-4	高齢者人口に占める自主的な介護予防活動団体 (自主グループ) への登録者の割合	%	年度	9.2 (R 5)	9.7
65	3-5-5	福祉施設から地域生活へ移行した人数 (累計)	人	各年3/31 現在	0	3
66	3-5-5	障害者就労施設から一般就労 (一般企業への就職) へ移行した人数	人	年度	2	5
67	3-5-6	民生委員の充足率 (実員数÷定数×100)	%	各年4/1 現在	92.8 (R 5)	100
68	3-5-6	地域ふれあいサロンの数 (竹原市社会福祉協議会所管)	団体	各年4/1 現在	71 (R 5)	90

No.	施策番号	指標名	単位	年度・暦年	現在の値 (R4)	最終目標値 (R10)
69	3-5-6	地域における協議の場（設置済数÷地区社協数×100）（竹原市社会福祉協議会所管）	団体	各年4/1 現在	78.9 (R 5)	100
70	4-6-1	市道舗装補修実施路線数	路線	年度	1	16
71	4-6-1	橋梁定期点検達成率	%	年度	100	100
72	4-6-2	空き家の活用数及び解体数	戸	—	175 (H30-R 4)	200 (R 6-R10)
73	4-6-2	公園を活用したイベント数（公園使用許可数）	件	年度	214	281
74	4-6-2	公園里親制度認定団体数	団体	各年3/31 現在	14	14
75	4-6-3	有収率（水道料金を徴収する水量率）	%	年度	86.6	88.0
76	4-6-3	水道管路の耐震化率	%	年度	12.4	21.4
77	4-6-3	公共下水道整備率（事業計画区域内）	%	各年3/31 現在	55.6	100
78	4-6-3	浄化槽の法定検査受検率	%	年度	62.9	85.0
79	4-6-3	下水道による都市浸水対策達成率（中央排水区）	%	各年3/31 現在	73.6	100
80	4-6-3	下水道による都市浸水対策達成率（本川排水区）	%	各年3/31 現在	0	32.9
81	4-6-4	一般廃棄物のリサイクル率	%	年度	14.9 (R 3)	21.4 (R 9)
82	4-6-4	1人1日当たり家庭系一般廃棄物排出量	g / 人・日	年度	1,055 (R 3)	938.2 (R 9)
83	4-6-4	資源物回収団体の活動件数	件	年度	11 (R 4)	現状維持
84	4-7-1	避難の呼びかけ体制構築組織（累計）	組織	年度	6	17
85	4-7-1	竹原市防災情報メール登録者数（累計）	人	各年3/31 現在	3,219	4,000
86	4-7-1	民間企業等との災害協定の締結数（累計）	件	各年3/31 現在	61	80
87	4-7-1	地域防災リーダー育成人数（累計）	人	各年3/31 現在	104	200
88	4-7-1	本川内水氾濫対策事業達成率	%	年度	0	100
89	4-7-2	交通事故発生件数（人口1,000人当たり）	件	暦年	1.06	1.00
90	4-7-2	交通事故死亡者数（人口1,000人当たり）	人	暦年	0.13	0.00
91	4-7-2	竹原警察署管内刑法犯罪認知件数（人口1,000人当たり）	件	暦年	3.65	3.00
92	4-7-2	振り込め詐欺等の特殊詐欺被害件数	件	暦年	5	0

4 用語解説

	用語	意味	掲載ページ
あ 行	一般廃棄物のリサイクル率	ごみ処理量（家庭系ごみと事業系ごみ）に対するごみの資源化量の割合で、リサイクル率(%) = [(ごみ資源化量) + (集団回収量)] / [(ごみ処理量) + (集団回収量)] × 100 で計算する。	84
	イノベーション	技術やビジネスモデル等の革新のこと。	54
	医療的ケア児	人工呼吸器や胃ろう、たんの吸引など医療的ケアが日常的に必要な児童。	72、73
	インバウンド観光	外国人が訪れてくる観光のこと。	32、33
	ウェルビーイング	well-being。個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること。	44、48
	ウォーカブル	Walkable。「歩く」を意味する walk と「できる」の able を組み合わせた造語。「歩きやすい」「歩きたくなる」こと。	37
	ウォームビズ	秋季、冬季には厚着をすることによって、暖房設備のエネルギー使用量を減らそうという環境省が中心となって行われるキャンペーンのこと。	27
か 行	カーボンニュートラル	二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。	26
	核家族	夫婦と未婚の子供で成り立つ家族のこと。	40、44
	キャリア教育	一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のこと。	46
	居住誘導区域	都市再生を図るため、居住を誘導すべき区域として立地適正化計画で定められる区域。	36
	クールビズ	夏期に環境省が中心となって行われる環境対策などを目的とした衣服の軽装化キャンペーンのこと。	27
	健康寿命	日常的・継続的な医療・介護に依存しないで、自分の心身で生命維持し、自立した生活ができる生存期間のこと。	66
	公園里親制度	公園の清掃や、植木の剪定などの緑化作業を住民ボランティア活動にゆだね、親代わりになった気持ちで公園を管理してもらう制度のこと。	80、81
	合計特殊出生率	一人の女性が出産可能とされる 15 歳から 49 歳までに産む子供の数の平均のこと。	40
雇用のミスマッチ	求人と求職のニーズが一致しないこと。ニーズの不一致には、求人需要が高い業種と求職需要の高い業種の不一致や、求人過剰の職種と求人不足の職種といった「業種・職種間ミスマッチ」、能力・経験・年齢・勤務条件などの不一致による「条件ミスマッチ」、求職者の性格や意欲が会社の風土に合わないといった「性格・意欲ミスマッチ」などがある。	6、54、55	

	用語	意味	掲載ページ
か 行	コワーキングスペース	Coworking Space。「共同の」を意味する Co と「働く」を意味する Working と「場所」を意味する Space を組み合わせた造語。人々が同じ空間を共有して仕事や作業、打ち合わせなどを行う場所のこと。	54、55
	コンテンツ	提供される内容や中身のこと。	4、25、32、33
さ 行	自助・共助・公助	住民と地域社会、行政の役割分担に関する考え方。特に災害救助の分野でよく使用される。「自助」(個人の役割)：自分の責任で、自分自身が行うこと。「共助」(地域の役割)：自分だけでは解決や行うことが困難なことについて、周囲や地域が協力して行うこと。「公助」(行政の役割)：個人や地域など、民間の力では解決できないことについて、公共(公的機関)が行うこと。	50
	指定管理者制度	地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO 法人・市民グループなど法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度。	81
	浚渫	河川や港湾などで水底の土砂等を掘りあげる工事のこと。	90
	消費者行政	消費者の利益を保護するための行政による取組のこと。	8
	初期救急	発熱や軽いケガなど、外来で治療できる比較的軽症な患者に対応する救急医療のこと。	66
	水源涵養	森林の土壌が、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させること。また、雨水が森林土壌を通過することにより、水質が浄化される。	26
	スタートアップ	先進的なアイデアや技術を持ち、新しいビジネスを創り出し、急成長を遂げる企業等のこと。	57
	スラグ	鉱石から金属を製錬する際などに、冶金対象である金属から溶融によって分離した鉱石母岩の鉱物成分などを含む物質のこと。	85
	生産年齢人口	15～64歳の人口。	34、54
た 行	ゾーン 30	生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保することを目的とした交通安全対策のひとつであり、区域(ゾーン)を定めて時速 30 キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内におけるクルマの走行速度や通り抜けを抑制すること。	93
	ダイバーシティ	「多様性」のことで、性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会という。(内閣府 HP から)	62
	耐用年限	公営住宅法施行令で定めている公営住宅の使用継続の限度年数(指標)のこと。	80

	用語	意味	掲載ページ
た 行	地域防災リーダー	地域の連携や防災力の強化を図るために色々な活動を行う、地域の防災担当の役割を担っている人のこと。	88、89、91
	地域優良賃貸住宅	主に中程度の所得階層のファミリー向けに供給される賃貸住宅のこと。	80、81
	地産地消	「地域生産・地域消費」を短くした言葉で、「地域でとれた生産物を地域で消費する」という意味。	59
	特殊詐欺	振り込め詐欺と、それに類似する手口の詐欺の総称。	92、93
	特定都市河川	都市部を流れる河川で、その流域において著しい浸水被害が発生したにもかかわらず、浸水被害の防止が周辺の地形その他の自然的条件の特殊性により困難な河川のこと。	90
	特用林産物	食用とされる「しいたけ」、「えのきたけ」、「ぶなしめじ」等のきのこ類、樹実類、山菜類等、非食用のうるし、木ろう等の伝統的工芸品原材料及び竹材、桐材、木炭等の森林原野を起源とする生産物のうち一般の木材を除くものの総称。	58
	土地区画整理事業	道路、公園、河川等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業。	5、36、37、83
な 行	二次救急	緊急手術や入院を要するようなケガや急病などの重症患者に対応する救急医療のこと。	66
	認定こども園	従来の保育園や幼稚園の枠組みを超え、就学前の子供を対象に保育と教育を一体的に行う施設のこと。	40、41、42、44、45
	認定農業者	農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画の市町村の認定を受けた農業経営者・農業生産法人のこと。	58
	ネウボラ	フィンランド発祥の、妊娠期から出産、子供の就学前までの間、母子とその家族を支援する目的で、地方自治体が設置、運営する拠点、また、出産・子育て支援制度のこと。	5、40、41、43
は 行	バリアフリー	多様な人が社会生活を送るうえで、障壁となるものを取り除くこと。	37、78、80
	犯罪認知件数	警察等捜査機関によって犯罪の発生が認知された件数のこと。	92
	晩産化	女性の出産する年齢が高くなっていくこと。	40
	避難行動要支援者	災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に、自ら避難することが困難な者で、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要するものをいう。	89
	広島中央環境衛生組合	竹原市・東広島市・大崎上島町が一般廃棄物の共同処理をするために設立した一部事務組合。	85
	ファミリーサポートセンター	地域において育児や介護の援助を受けたい人と行いたい人が会員となり、育児や介護について助け合う会員組織のこと。	40

	用語	意味	掲載ページ
は 行	風致地区	都市計画法第8条第1項第7号に規定する地域地区で、都市において水や緑などの自然的な要素に富んだ土地における良好な自然的景観を形成している区域のうち、建築物の建築その他工作物の建設や木竹の伐採などの行為を規制し、都市環境の保全を図る区域。	30、31
	プラットフォーム	ものごとの土台や基盤となる環境のこと。自治体等では、関係主体等が連携し、取組を推進する仕組みや組織等のことを表す。	35
	ふるさと就職登録制度	竹原地域で就職を希望する人の情報を登録し、地元の企業や新規に進出した企業に情報提供することで、新たな人材の確保と竹原地域への就職を推進する制度。	55
	フレイル	虚弱を意味する医学用語のFrailty（フレイルティー）の日本語訳。健康な状態と要介護状態の中間の段階のこと。	71
	プロモーション	消費者の購買意欲を喚起するための活動のこと。将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変すること。	4、33
	平均自立期間	「日常生活動作が自立している期間の平均」を指標とした健康寿命を算出したもので、国保データベースシステムにおいて毎年算出する。	67
	放課後児童クラブ	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校の子どもたち（放課後児童）に対し、授業の終了後に児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を提供して、その健全な育成を図るもの。	40、41、42
ま 行	マリンアクティビティ	マリンボート、水上オートバイなど海で行う遊びのこと。	32、34
	みなとオアシス	海浜・旅客ターミナル・広場など「みなと」の施設やスペースを活用した地域交流拠点に対し、地方整備局長（国土交通省）が認定登録を行い、さまざまな支援を行う制度。「みなと」を地域住民や観光客など多くの人が気軽に立ち寄り交流する憩いの場、いわゆる「オアシス」として活用しようというもの。	78、79
	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満によって、さまざまな病気が引き起こされやすくなった状態。メタボリックとは、「物質交代（代謝）」、シンドロームとは「症候群」の意味。	67
ら 行	ライフステージ	年齢にもなって変化する生活段階のこと。	7、68
	ライフライン	生活・生存に不可欠な電気・水道・ガスなどが供給される経路のこと。	88
	流域治水	気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域（雨水が河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方。	90

用語		意味	掲載ページ
ら 行	輪番制	二次救急医療機関としての診療機能を有する病院群が輪番制方式により実施する救急医療体制のこと。	66
	歴史的風致	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）第1条に規定する地域におけるその固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境。	4、28
わ 行	ワークライフバランス	あらゆる人々が人生の各段階において仕事と個人の生活の両方を、バランスよく充実させていこうという考え方。仕事だけでなく、生活も満たされること。	55
数 字 ・ ア ル フ ア ベ ット	3R	Reduce（リデュース）廃棄物の発生抑制、Reuse（リユース）再使用、Recycle（リサイクル）廃棄物の再資源化をキーワードとする循環型社会を形成していくための取組。	84、85
	COOL CHOICE	2030年度に温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のため、省エネ・低炭素型の製品への買換・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていこうという取組のこと。	27
	DV	Domestic Violenceの略語。配偶者や恋人、パートナーなど親密な関係にある、又はあった者から振るわれる暴力のこと。	65
	DX	Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）の略語。経済産業省では、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。」と定義している。	4、6、11、33
	ICT	Information and Communication Technologyの略語。情報通信技術のこと。	5、6、11、44、46
	LGBT	Lesbian（レズビアン）、Gay（ゲイ）、Bisexual（バイセクシュアル）の3つの性的指向と、Transgender（トランスジェンダー）のジェンダー・アイデンティティ（性自認・性同一性）の各単語の頭文字を組み合わせた略語であり、特定の性的少数者を包括的に指す総称。	62、63
	SNS	Social Networking Service（ソーシャルネットワーキングサービス）の略語。X（旧Twitter）やFacebook、Instagramなど、互いがWeb上で友人を紹介し合い、新たな友人関係を広げることを目的としたコミュニケーションサービスのこと。	4、32、40、57、89

本計画の策定に当たりまして、多大な御尽力をいただきました竹原市総合計画審議会委員の皆様をはじめ、アンケートやパブリックコメントなど貴重な御意見をいただきました市民の皆様から感謝申し上げます。

第6次竹原市総合計画 後期基本計画

令和6(2024)年3月

竹原市総務企画部企画政策課

〒725-8666 広島県竹原市中央五丁目1番35号

TEL : 0846-22-0942

FAX : 0846-22-0998

E-mail : kikaku@city.takehara.lg.jp

TAKEHARA

The 6th TAKEHARA Comprehensive Plan

第6次竹原市総合計画 後期基本計画

2024-2028

